

吉川中は開校から3年目を迎えました。開校当時と比べると生徒数・クラス数も大幅に増え、さまざまな「変化」が起こっています。

部活動の新設

野球部、男子バスケット部、科学部が新設されました。

野球部、男子バスケット部ともに6月の学校総合体育大会で初出場を果たしました。3年生主体のチームが多い中、最後まで戦い抜いた姿は大変立派でした。二つの部活動ともにユニホーム、練習用シャツなどをそろえ、夏休みも練習を重ねて新人戦での初勝利に向けて頑張っています。

また、科学部は児童館ワンダラーランドの見学など校外活動も行いながら理科室で活動しています。夏休み中には夏季校外



バスケット部(写真左)、野球部(写真右)の活動の様子

活動として東京都の葛西臨海公園にてフィールドワークを行いました。科学に興味を持っている生徒が多く、今後の活動が楽しみです。



科学部の校外活動の様子

校則の見直し

今年度から髪型について一部変更しました。また、クラスでの事前の話し合い活動を重ねた後、生徒総会の中で「靴下の色」「外履き用シューズの色」の校則変更について話し合いが行われました。最終的に職員も話し合い、靴下の色は白・黒・紺・グレーの単色、外履き用シューズの色は白以外も可能としました。今後も吉川中は時代の流れに応じた「変化」を重ねていきます。

吉川中学校校章



市内小中学生からの180点の応募の中から決定しました。3本の流れを持つ中川と花と緑に囲まれた中学校を表現しています。



市長コラム 「価値ある未来を、共に」



閲合せ

政策室
 ☎982・5112 FAX981・5392

文化芸術によるまちづくり

▼「人間達が攻めてきた！大変だ〜！」タヌキ役の、出演者最高齢83歳のトベちゃんの声が張れば、キツネ役の子供達は「どうすれば、みんなが仲良くなれるんだろう？」と頭を悩ます…。そんな「共生の未来」が描かれた「吉川市演劇プロジェクト」第4回公演ばかされ〜異聞吉川譚〜が、先月9月3・4日に無事上演され、コロナ禍での2回の公演延期を乗り越えたその素晴らしい舞台は大きな拍手に包まれました▼平成27年度からスタートしたこの「演劇プロジェクト」では、小学生から高齢者までさまざまな世代の皆さんが、性別や障害の有無、国籍も関係無く、力を合わせて「舞台」を創り上げ、参加者や関係者の方々から、「高齢者の健康長寿」はもちろん



さまざまな世代、障害の有無など垣根を超えた共演

のこと、「世代間交流」や「社会参加」、「シティブロモーション」などへの効果の声が多く寄せられています▼吉川市では、「教育、健康、障害福祉、国際交流、産業などさまざまな分野において、文化芸術を多面的に活用し、地域の課題解決を図ろう」と、「演劇プロジェクト」の他にもさまざまな文化芸術事業を展開しています▼例えば「こどもハイク探検団」では、子供達が吉川市俳句協会の方々と市内を散策しながら俳句を創作。「高齢者の生きがい」「環境学習」などにつながっています。また、児童館が開催した「なまず絵画コンテスト」では、優秀作品を子供達自らタイトルにし、美南中央公園トイレに壁画として設置。「公園整備」「郷土愛」などに。さらに、「障がい者アート展」の開催は「相互理解」「バリアフリー」などにつながっています▼今後、多くの皆さんと共に、「文化芸術を活用したまちづくり」をさまざまな進めてゆきます！皆さんのご参加をお待ちしています！